

## 平成 28 年度第 2 回琴浦町男女共同参画審議会 会議録

日時：平成 29 年 3 月 13 日（月）19：00～21：00

場所：本庁舎 第 2 会議室

1. 参加者	9 人
2. 欠席者	米原、川本、澤田、田中 各委員
3. 開会	遠藤企画情報課長
4. 内容	<p>①第 2 次琴浦町男女共同参画プラン実施計画に基づく平成 28 年度事業計画の下半期進捗状況と来年度に向けて</p> <p>②男女共同参画アンケートの結果報告（概要）について</p>
5. 会議録	<p>●委員 ○事務局</p> <p>①第 2 次琴浦町男女共同参画プラン実施計画に基づく平成 28 年度事業計画の下半期進捗状況と来年度に向けて</p> <p>■基本テーマ 1 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識改革</p> <p>□重点テーマ 1 政策、方針決定過程への女性の参画の拡大</p> <p>●審議会や委員会等における女性登用率について、目標は何％ですか？ ○40％を目標にしています。</p> <p>●今は36％ということで、どんどん近づいていて良い傾向ですね。男女ともに、意見がしっかり言える場になってきていますか。</p> <p>○報告いただいている役員の中には、充て職として役員になっておられる方もおられるので、本当の意味での女性登用ができているのかという点については、少し統計方法を考えていかなければならないと思っておりますが、難しい問題であると思えます。</p> <p>●自主防災組織は何％程度できていますか。また、その中に女性を登用しているのでしょうか。</p> <p>●約160部落に対し、40～50部落が自主防災組織があります。しかし、部落の組織と自治体の組織と少し違っているため、状況把握は難しいです。</p> <p>●ぜひ、自主防災組織を立ち上げ、女性を登用してください。特に日中に災害があった場合は、女性の在宅率が大きいことに加え、子どもや高齢者のことについてよく心得ているので、女性の登用がとても大事だと思います。</p>

## □重点目標 2 男女共同参画に関する広報・啓発活動の推進、学習機会の充実

●男女共同参画フォーラムについて、今回はトランスジェンダーについて学びました。そのフォーラムで話された内容は、例えば子どものクラス30人学級でしたら3人程度がトランスジェンダーで悩んでいる可能性があるようです。学校の教員の方にも来ていただいて話を聞いてもらったところ、自分のクラスにも該当しそうな子がいるというお話もあったようです。

トランスジェンダーの問題は、とても大事なことだと思います。

●いろいろな調査を行う際、性別を聞くときに配慮が必要ですね。単に男か女かだけでなく、「その他」や「答えにくい」を入れるなどの対応が必要だと思います。

## □重点目標 3 家庭教育・社会教育における男女共同参画の推進

●スクールカウンセラーの重要さを日頃感じています。やはり、専門的な人に話を聞いてもらおうと、心の重さが違いますね。スクールカウンセラーに相談して良かったという話をよく聞きます。

●スクールカウンセラーに相談して気持ちが軽くなったという話はよく聞きますが、カウンセラーに話を聞いてもらったけど納得いかないとか、具体的な解決策が出なくてまだ心にモヤモヤを抱えている人もいます。カウンセラーに「どこか医療機関に診てもらったらいい」と言われ、具体的な医療機関名を聞くと、「この辺り（中部地区）には無い」という回答でした。スクールカウンセラーや保健の先生で対応できなかった時、そこから一歩先の相談できる場所を具体的にし、充実するべきではないでしょうか。どうしても近場では話せない人もいますので、スクールカウンセラー以外にも相談できる場所を事前に情報発信してもらおうと、とてもありがたいと思います。

## ■基本テーマ 2 職場・家庭・地域において多様な生き方を選択できる社会の実現

### □重点目標 4 職場における男女平等の推進

●町内で女性が管理職に登用されている企業は、どのくらいありますか。

○米久や大山乳業、鳥取ガス産業等、けっこうあります。増えていっている実感はあります。

●役場の管理職も女性が多いですね。しかし、女性に登用するだけではいけません。登用するポジションも考えないといけません。男女共同参画の時代だからといって、全く知識の無い人や受け答えできない人が急に管理職になっても、本人も部下も周りも大変。その人が最も得意な分野で、性別によらず、経験を積ませて、能力の高い人を管理職にするべ

きだと思えます。

●かつての鳥取県庁では、女性の仕事はずっと庶務でした。しかし、その女性たちがいざ課長補佐等の職位を与えられる歳になると、経験が足りずにその職位に就けないということがありました。このことがあって、庶務の仕事内容の幅が広まり、多くのことを学ぶようになり、この後、男女共同参画の取り組みが社会的に広まってきました。片山知事は、「女性＝庶務という意識で同じポジションにずっと就いていたことがいけなかった」と言って、女性にいろいろな職種を任せるようになりました。例えば、女性も作業着を着て道路の工事に関わったり等、いろいろな場所を経験することで、女性も職が選べて、男女共同参画になることでした。大きなくりの県庁だけでなく、市町村もそのようにして欲しいと思えます。

○役場も近年では、女性が事務以外にもいろいろな部署に所属するような人事異動が増えています。要するに、性別に関係なく、いろいろな部署に行って、適材適所が大切ということですね。

#### □重点目標 5 農林漁業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

●認定農業者になると、どのようなメリットがありますか。

○農業に関するいろいろな支援や、補助金の関係が最大のメリットだと思います。

●今度、農業委員の選出方法が改正されます。農業委員の過半数は認定農業者でなければならないという決まりがありますが、そのほとんどが男性です。どちらかと言えば男性が認定農業者になっていて、農業委員は女性が少ないです。

○今回、このような状況を改善する目的も含めて、認定農業者の配偶者も協議会に入れるようにしました。また、認定農業者になっておられる方は、男女一緒に農業をしていくという意識を持っておられる方もいるので、家族経営協定を結んでおられる人も多くいます。

●家族経営協定を結ぶと、会計の関係等の実権が若い人に移るので、若い人は経営がやりやすいというメリットもありますね。

●農家が大きくなればなるほど、奥さんの休みがないです。農業も仕事なので、それに縛られてしまって、休みがありません。

●鳥取県で一番最初に家族経営協定を結ばれたのは、以西の高力さんでした。その時、高力さんは家族会議をして、奥さんも口座を持つ約束をしたり、育児や家事との兼ね合いを考えた上でどのくらいの労働をするのか等、話し合っただけで決められたそうです。

●家族経営協定に入っていないなくても、上手く回っている家庭もあるので、新たに入らなくてもよいと思う家族もいます。

●自分の自由に使えるお金を持っていない農家の女性がいることが問題ですよ。

●お金を持てない人もいますが、今の時代は、お金を渡さなければお嫁さんが実家に帰ってしまうので、その危機感で微妙に緩和されつつあるというのが現状です。

●今の時代は晩婚化になっているので、結婚する前に就職してお金を稼いで、貯めておられる人もいますよ。

●実際、夫の名前で口座を作っているけど、妻が通帳と印鑑を管理していることもありますし、家庭によって様々です。

●農家の女性は、お金をもらっていない家庭が無いことは無いですが、女性自身はかなり強くなって、しっかりお金を貰えるような傾向になっています。

#### □重点目標6 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

●介護についての学習は、親の介護が始まる前にするべきだと思います。余裕を持って放置しておくのと、段々と悪くなって、気がついたときには重症になっているということもあります。介護予防が大切ですね。

●子育てが終わったら、親や祖父母の介護があるようで、気持ちを抱え込んでおられる人もいます。

●今は、女性だけでなく男性も介護に積極的に関わる人が増えたと思います。時代の変化を感じます。

●このことに合わせて、介護休暇をとることが大事だと思います。介護休暇は、誰が、どのように、どのくらい等、介護について考え、相談や施設の見学等、対策を立てる期間だと聞いています。急に仕事を辞めるのではなく、介護休暇を使うことも大事ではないでしょうか。

●介護をすると、どうしても仕事を辞めざるをえない状況があります。デイサービスを利用しても、行きと帰りに付き添う必要がありますし、ヘルパーを利用してもお金の問題が出てきたり、介護度によって使えるサービスが決まっていたりと、介護の問題はとて難しいですよ。

●介護の問題を1人で抱えるとしんどいので、誰かに相談したり、家族で手助けしたりすることが必要だと思います。

●介護の問題は、男女がともに学ばないといけないですし、お年寄りだけでなく、若年層も一緒に学ばないといけないのではないのでしょうか。

●しかし、若い人は「自分には関係ない」と思いがちなんです。何か、きっかけがあれば、また違うと思いますが。若いうちに少しだけでいいので勉強しておくのと、急に介護をしないとイケなくなった時に慌てないので。早い段階で、介護について知って欲しいです。

●介護については、費用の想像が付き辛いです。家で介護をするなら費用がどれくらいで、どんなデメリットとメリットがあるのか、施設入所についても同じく、そのような具体的なことを周知していただけると、心積もりができます。介護予防も含めて、介護について30代・40代の人に危機感を持っていただくよう、啓発をお願いします。

○包括支援センターでは、介護保険申請時に、介護について書いてある

パンフレットをお渡ししていますし、相談もお聞きしますので、ぜひ利用していただけたらと思います。

●今、琴浦町は介護予防に力を入れているので、重度の介護認定は少ないようですね。町ぐるみで頑張っていると思います。

●今は女性も意思が強くなってきていて、昔は旦那が早くに亡くなった後、嫁が旦那の両親を介護する風潮でしたが、今は仕事や自分の意思を優先し、旦那の死後に離婚して嫁ぎ先から出る人も少なくないようですね。女性進出が進む中で、介護は男性も一緒に考えなければ、離婚になってしまう世の中になってきました。

### ■基本テーマ3 だれもが健康で安心して暮らせる環境の整備

#### □重点目標7 高齢者や障がいのある人、ひとり親家庭、外国人が安心して暮らせる環境の整備

●「だれもが健康で安心して暮らせる環境の整備」というのは、男女共同参画とあまり結びつかないような気がしていますが、必要なのでしょうか。あまり関係性の薄いところより、関係性の濃いところに絞って審議をした方が良いと思います。

○健康でなければ、何もできないので、「身体が資本」という意味で健康関係を計画に入れています。役場で定めているいろいろな計画には、今審議を行っている男女共同参画の計画と重なっているところも多くありますが、最大限に男女共同参画を考えた時に、健康であることも大きなポイントだと考え、今回の第2次の計画に入っていますが、先ほどの意見についても検討させていただきたいと思います。

○今では介護も男性の参加が増えてきていますが、昔は、親の介護や障がいのある人のお世話は、女性の仕事だと位置づけられていました。また、離婚したら、女性が子どもを引き取り育てる傾向もほとんどでした。このような現実があったため、男女共同参画の視点を持って啓発することや、支援が必要になっていると考えています。しかし、男女共同参画の計画内容も広がってしまっていて、間接的なものも多いため、第3次プランの策定時には整理していきたいと思います。

●今、ひとり親家庭の貧困が問題になっていますが、この問題は表面状は見えづらいようですね。昔は衣服等で目に見えていましたが、今は目に見えないところで貧困があるので、発見することも、支えることもできません。

●今は貧困の基準も分かりづらくなっていますね。それに加え、親も子どもも貧困を隠そうとする傾向にあるようで、なかなか目の前に実態が見えてきません。

●今、倉吉で子ども食堂を運営されているところがあります。そこは、子どもは誰でも来ていいようになっているのですが、本当に貧困状態に

ある子は、最初は行かないみたいです。他の子どもたちが子ども食堂で宿題や話をしているうちに、参加するようになるようです。このような、子どもが利用しやすいということも1つの大きなポイントですね。

●共働きの時代になって、子どもに時間をかけることができなくなっている家庭も最近は多くなっていますね。

●学校の校長先生に、子どもの貧困について聞いてみたところ、学級費をできるだけ削る等、できるだけチェックをしているとのことでした。

#### □重点目標8 あらゆる暴力の根絶

●DVの相談件数は町内では0件のようですね。近いところで相談はしづらいということもあると思います。相談窓口の設置はずっとしていただいている、担当者や県とも連携がとれるようにしていただいているようでありがたいです。

●実質、DVが0件ということは、ありえません。

○行政が介入して良かったというケースも中にはありますし、逆のパターンもあります。プライベートも大きく関わることのため、難しい問題です。

○鳥取県内でも担当者同士でいろいろ情報を交換しあって、連携をとるようにはしているのですが、やはり被害者は助けの声が出せないということが現状だと思います。そのような方々をどうやって支援していくかが今後の課題となってくると思います。

#### □重点目標9 生涯を通じた男女の健康づくりの支援

●鳥取県は人工妊娠中絶率がとても高いのですが、家族計画をしっかり話し合える関係を築くとか、女性が自分の意思をはっきり伝えられる力をつけなければいけません。もちろんこれは恋人間でも同じです。

○今は赤ちゃん訪問時に家族計画のパンフレットを渡したりしています。恋人同士の時にしっかりと啓発をしていかないといけないですね。

●計画の中に、不妊予防という単語がありますが、どのような意図で行っていますか。

○身体的に、40代になって出産に臨むと、受精率がとても低かったり、妊娠・出産時にリスクが高くなってしまったりといった問題があります。しかし、このことを知らない人が多く、女性の社会進出は嬉しいことなのですが、いざ気持ちも落ち着いて子どもが欲しいと思った時に、既に高齢出産になってしまうというケースもあります。子どもを産むか産まないかの選択は本人や家庭に任せるにしても、このようなことを、事前に知識として知っておくことが大事だと思っています。

●性感染症について、エイズについてはよく啓発されていますが、その他の感染症については、周知をしていますか。

○エイズは世界的な問題にもなっていて確かに大きくとりあげていますが、HPやパンフレットにはエイズ以外の性感染症も合わせて周知

し、症状や何が危険なのかといったことを載せて啓発しています。

## ②男女共同参画アンケートの結果報告（概要）について

●回答率が30%未満は低いですね。

○平成23年に行った調査は500人にアンケートして、回収数は219人でした。今回は対象を2,000人に広げ、回収数も569人です。このアンケートを行った時期に鳥取県中部地震もありましたので、その影響もあると思いますが、回収率で見ると少なくなっています。しかし、回収数でいけば前回の調査の2倍以上となっています。

●18歳～20代は、男女共同参画に反対している人がいますね。理想として家庭に入りたい若い人が多いという話は聞いたことがありますが、本当にそうなのですね。自分の実力や能力を發揮したいと思わないのでしょうか。

●理想は皆そうですよ。生活費のことがあるので働かないといけない状況ですが、理想としては、働かずに家にいたい人は多いと思います。

●若い世代への男女共同参画意識啓発をしっかりと行っていただきたいです。

●仕事について、女性が仕事を辞めなければならない理由として、乳幼児の養育が8割以上もありますね。やはり、子どもは女性がみるという意識が非常に強いと思います。必ず母親が必要な時期もありますが、育児休暇があるので、復帰できる状況は整っているにも関わらず、この状況はどうしてなのでしょう。8割もあつたら、周りからの視線も気になるでしょうし、職場復帰もしづらくなりますよ。

○この回答については、女性自身が、子どもの成長を見守りたいために育児を選択されている人もいます。そのような要因も含めて、8割以上となっているのだと思います。

●極端ですよ。2ヶ月くらいから保育所に子どもを預けたいという母親と、3歳までは自分で子どもの成長をみて育てたいという母親がいます。

●職場の環境もあると思います。女性の収入が高かったり、職場が休暇をしっかりとらせてくれるところは、復帰しやすいです。

●結婚したから家庭に入るということはもちろんあるけれども、子どもができれば出産休暇をとって、育児休暇をとって子育てをしないといけません。そこまで休みが長く続くと、企業からすると戦力にならないという現実もあります。特に銀行等は、今は体制も変わってきていますが、昔はそのような風潮が強かったです。女性からは、「ずっと休みをとっている」、育児休暇から復帰後に「今更どうしてまた職場に戻ってきたのか」というような目で見られ、職場に居づらいという声も聞きます。

○アンケートの結果をみると、最初にアンケートを実施した平成19年度から比べると、確実に男女共同参画が進んでいるということが見えます。

	<p>●今は職場の環境がだんだんと良くなってきています。働き方改革や育児休暇の制度整備等ができてきていますが、20年～30年前はこのような状況ではなく、結婚した女性が仕事を辞めなければ、上司から圧力がかかったり、仕事仲間から非難の目で見られたりしていました。</p> <p>●女性が正規職員のままいられるかどうかは、生涯大きく変わってきます。厚生年金の金額にも関わるし、退職金にも関わります。長期で休んでしまったり、途中でやめてしまうと、老後が大変なんです。</p> <p>○今回行ったアンケートは、第3次プランの基礎資料とします。この何年かで男女共同参画は確実に進んでいます、進んでいない部分もあります。何が課題で、年代別ではどうなのか等を整理し、PRや啓発の方法を考えていきたいと思います。</p> <p>●職場内での男女共同参画も大事ですが、家庭内でも重要です。男女共同参画を進めるうえで、家庭内の男女共同参画ができているということが1番基本だと思います。</p> <p>○今回のアンケートでも、家庭の中で行う仕事は、ほとんど女性が担っているという現状が見えました。</p> <p>●男の料理教室等の啓発を行っていて、参加者も増えていますが、それがしっかり家庭で活かされているのでしょうか。学んだことを実践するような啓発をしていかなければならないと思います。</p>
6. その他	21:00 終了